

紅葉と黄葉

区内の紅葉と黄葉を観に公園へ、また街歩きをしました。モミジといえば池田山公園(下写真)です。鮮やかな紅が緑の木々に映え、素晴らしい紅葉観賞になりました。



一方、春の花としてはもちろん桜ですが、この時期紅葉も楽しませてくれます。桜の木は区内各地にありますから、目に触れる機会は多いと思います。



目黒川沿い



東品川海上公園

沿いのイチョウはその存在を誇らしげに見せているようです。

晩秋に黄色がまぶしいイチョウの黄葉も紅葉に負けていません。公園や神社仏閣、道路



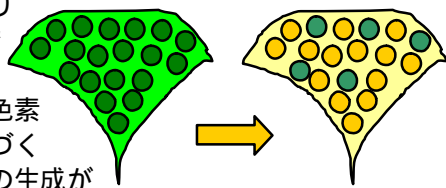
区役所前

海徳寺

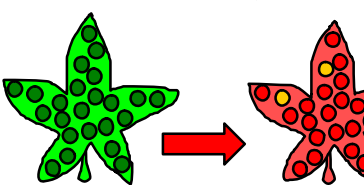


モミジ サクラ イチョウの葉は、いずれも1年の多くは緑色です。なぜこの時期に紅色や黄色に変わるのでしょうか。

葉の中にはクロロフィル(葉緑素)という緑色の色素がいっぱいあり、そのために緑色に見えます。またクロロフィルより量は少ないのですがカロチノイドという黄色の色素もあり、冬が近づく



とクロロフィルの生成が抑えられ分解されて、カロチノイドの黄色が目立ってくるため、葉が黄色く見えるようになります。



この糖から赤色系の色素であるアントシアニンが合成され、分解されたクロロフィルの緑色に変わってアントシアニンの赤色が目立つようになります。



区内、お住まいの近くの紅葉や黄葉の写真がございましたら、一言コメントを加えて下記品川区環境情報活動センター宛メールでお送りください。ホームページ(HP)に掲載させていただきますことでもあります。

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

「イワトビペンギンのくらし」

険しい岩壁の上に営巣するイワトビペンギンの生態を紹介します。
日時/1月23日(日)14時~16時
対象/一般

「牛乳パックではがきをつくる」

飲み終えた牛乳パックを使って紙すきをし、はがきを作ります。
日時/2月9日(水)13時半~16時
対象/一般

「飛び出せ! 3Dを科学する」

LEDと身近にある道具を使って3Dを手作りします。
日時/2月20日(日)14時~16時
対象/小学生

「海へとつながる私たちの暮らし」

東京湾の漁業を盛んにすること、地産地消で東京湾の水質改善を図ること

とができます。

日時/2月27日(日)14時~16時

対象/一般

「春の寄せ植え」

サギ草にベニチガヤを添えた寄せ植えです。

日時/3月11日(金)13時半~15時半

対象/一般

春の子ども環境講座

「気象予報士から学ぼう」

「天気不思議と環境」

雨の不思議と大雨から身を守る方法」~雨量計を作ってみよう~

「太陽と風のエネルギーを利用しよう」~風速計を作ってみよう~

「不思議な天気いろいろ」~夕焼け・虹・雷を作ってみよう~

日時/3月19,20,21日、14時~16時

対象/小学生

講座の名称、日時等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」や「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2010年度Vol.3

発行:品川区都市環境事業部環境課

編集:特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日:平成22年12月15日

住所:〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX:03-5742-6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

HP:http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2010年度 Vol.3

みどりと花のフェスティバル

「みどりと花のフェスティバル」がさわやかな秋空の下で開催され、さまざまなイベントが参加した人を楽しませてくれました。

9月25日(土)、26日(日) 東品川海上公園
テーマは「公園の植物とのふれあいを楽しみましよう」です。

苔玉作り

土台になる苔と苗が用意されており、苗は屋上庭園の株分けをしたものです。親子での参加がありましたが、お母さんが一生懸命でした。



苗の販売

公園内の植物を株分けして育てたレモンハム、レングラス、スパミントなどのハーブの苗を中心に販売されました。ハーブティの試飲もありました。



ガーデンツアー

屋上庭園に植えている季節の花について、この花壇を監修している方やガーデナーの説明がありました。



その他、竹とんぼや押し花作りにも多くの参加がありましたが、「どうやって飛ばすの?」と竹とんぼについて聞く子もいました。

10月16日(土)、17日(日) 西大井広場公園
テーマは「いのちのふれあい」です。



最近の都会の生活ではやや遠い存在になったヤギ、羊、ウサギなどのふれあいができました。ウサギと戯れる子どもたちの輝いた目が印象的でした。動物と楽しんだ後は公園の砂地を元の状態に戻さなければなりません。世話をしてくれた方たちが、ふん尿などの汚れを抗菌加工砂できれいにしてくれました。

木の輪切りを使っの工作コーナーには親子での参加がありました。絵の具やボンドを使って思い思いの作品が出来上がりました。



10月23日(土)、24日(日) しながわ区民公園
テーマは「緑と音楽と自然」です。

こちらでも親子で楽しめる工作教室が人気で、多くの家族が参加しました。公園にはとち、しい、くぬぎなど、さまざまなどんぐりがあります。これらを使った工作でどんぐりとのふれあいも楽しかったですね。いっぱい集められたどんぐりは、自由に持って帰られるようにしてありました。

東京大学民族愛好会の皆さんによる民族音楽の演奏がありました。

「コンドルは飛んでゆく」や「花祭り」など親しみの

ある曲の演奏があり、皆さん楽しいひと時を過ごしました。



環境記者 活躍中 第13回環境記者情報交換会開催

11月11日(木)、第13回環境記者情報交換会が8名の環境記者ほかの出席のもとで行われました。

この夏の暑さは植物にも大変だったようで、ドクダミが咲く時期を間違えて季節はずれの花を咲かせていました。ツツジは猛暑で葉が落ち、9月中頃には涼しくなり10月初めに暑さが戻って、春が来たか勘違いしたのでしょうか。



インタメディア代表の佐山吉孝氏から「昔のおもかげを探してまち歩き/その五、大崎駅前から百反坂周辺」と題してお話をいただきました。再開発が進んだ大崎駅前も少し入れば狭い路地があり、昔ながらの建物や風景が見られます。新しいビルが建てられていますが、駐車場に施された緑化やビルとビルの中の植栽など、少しでも環境に配慮しようとしている様子が伺えます。



私のお気に入りの場所は大崎駅前のシロクワの庭で、秋にはススキ、ホトトギス、ノコンギクなどが素晴らしいです。我が家の花々に今年も水やりをしたのですが、猛暑のために足りなかったようで、かなり枯れてしまいました。



自宅の庭にビニールバケツを置いて槇の木を育てていたところ、突然小さな植物が誕生しました。それはなんとぶどう科の植物でした。たぶん鳥が種を運んできたのでしょう。それから5年目の昨年、実をつけるまでになり、近所の子供さんや保育園の園児さんに食べていただいて喜んでもらいました。



相変わらずですが、JR五反田駅から「ゆうぼうと」へ行く通りを歩く際に、歩道ごみ拾いなどを行っています。五反田周辺では、残念なことに業者の貼り紙が目立ちます。



10月、環境情報活動センターの子ども環境講座で、日ごろ全国で開いている科学実験教室の講師とともに講師をさせていただきました。子どもさんに限らず大人の方にも環境についてお話できる機会があればと思っています。

私が勤務している会社では2008年から環境方針の中に「生物多様性」という言葉を記述し、その保全活動をするようになりました。また地域の小学生などに環境に対する情報を紹介しています。



最近、生活のなかで感じることは無機質なものの多さです。生き物を大切にしようという気持ちがほしいものです。

毎週福島県へ行ってキノコと野菜を作っていますが、これを17年続けています。野菜は化学肥料を使うことなく、落ち葉、堆肥など全部自然の肥料で作っています。区内では西中延三丁目町会では皆がボランティアで資源回収(毎月3回)をしています。また自分としてはなるべくごみを出さない活動をしています。



学生環境記者も活躍しています

11月14日(日)しながわ花海道で菜の花の種まきが行われました。しながわ花海道では毎年7月頃に種をまいたコスモスが秋にはきれいに咲き誇り、それを刈り取った後に菜の花の種まきをします。3月には勝島運河の土手一面を黄色い菜の花が敷き詰めてくれることでしょう。



(コスモス) 平成22年秋 (菜の花) 平成22年春

ここで立正大学の学生さんが一役買っています。立正大

学地域連携支援室に所属する皆さんは地域連携活動の一環としてさまざまな地域のイベントに参加しています。

環境記者の坂本美波さん(下写真左から3人目)はその一員で、今回の種まきに参加しました。

「お天気に恵まれ、良い汗をかき、様々なことを学びながら畑仕事ができました。雑草だらけだった立正大学の畑も綺麗な菜の花を咲かせる準備が整いました。草花だけでなく虫や鳥もたくさんいて、品川区という「都会」のなかにいることを忘れさせてくれます」との報告をいただきました。



環境学習講座 会場：品川区環境情報活動センターほか

トラと生きる・ネコと暮らす
～街・動物園から野生まで (8月26日)
講師：動物園ライター 森由民氏

トラをはじめとしたネコ類を中心に、環境に適応した分化について、また人間の活動がトラやツシマヤマネコなどに及ぼしている影響についてお話していただきました。

人間の生活が豊かになり、また人間がより便利さを求めて山や森の開発をし続ければ、野生生物が生きる場を失うことに繋がります。人間を含めた地球上のすべての生物がこの大地の中でうまく調和し、共存できるような生き方がどうしたらできるかを考えさせられる講座でした。



ペットボトルを利用してウォータートルネード(水の竜巻)を作ろう! (10月3日)
講師：学研科学インストラクターのみなさん

ペットボトルをリサイクルする前に、環境について学習できる楽しい実験をしてみましょう。ペットボトルに入っている水を早く出すために「水の竜巻」を作ります。この原理がトルネードに応用されています。トレットペーパーとティッシュペーパーを水の入ったコップに入れて箸でかき混ぜます。トレットペーパーはパパラになります。ティッシュペーパーは箸からみつき、かたまってしまいます。トルネードではティッシュペーパーは使わないようにしましょう。私たちが毎日お世話になっているトルネード、やさしく使しましょう。



季節を感じるリサイクルアート
～さき織りの平織りで作る小物 (10月8日)
講師：アートディレクター 竹中信子氏

さき織りとは江戸時代中期、厳しい北国の生活から生まれた技術で、着古した着物や古い布を細く切り裂き、はた織りをして新たな布を作る技法です。今回はタペストリーを作りました。



環境問題は江戸時代を見ると分かる
(10月17日)
講師：日本国際戦略問題研究所 所長 津田慶治氏

今日の日本は資源小国といわれていますが、江戸時代は世界的な鉱業国家であり、銅や銀は世界の1/3を産出していました。いずれ石油が採れなくなり価格の高騰が予想され、石油に代わる燃料も高価なものになると言われています。日本には資源がないから、埋まっている資源を掘り出すのではなく「資源を作る」という考え方が出てきます。相対的にリサイクル費用が安くなりますが、その場合携帯電話やペットボトルなどのリサイクル資源は都会にあり、世界最大の「鉱山」は東京になるでしょう。



秋の寄せ植え (10月25日)
講師：林秋江氏 (秋草会会員)

非常に人気の講座で、今回も多数のご応募をいただきました。使用した草花は3種類の菊、ノコンギク、アスリジキク、乙立寒菊とイタダキです。講師から寄せ植えの基本ポイントや草花の特徴、用土、日当たり、配置の仕方などの説明があり、続いて実習です。網や針金を使い草花の配置やバランスなどを調整しながら調整して作りあげていきます。たっぷり水やりをして、表面に苔を張ればできあがりです。



ペットボトルで顕微鏡を作ろう! (10月31日)
講師：インタープリター 仲上美和氏

普通の顕微鏡は2つのレンズからできていますが、今回は1つのレンズを使います。主な材料は丸型のペットボトルとキャップ、直径2mmくらいの非常に小さなレンズ(ガラス玉)です。まずキャップの真ん中に小さな穴をあけそこにガラス玉をはめ込みます。顕微鏡の台は右写真のようにボトルの肩の部分から上を切り取ります。次にプレートを作ります。ボトル側面を一辺1cmの正方形に切り取り、花粉など観察するものを細胞液につけ、先に1cm角に切り取ったものに貼り付けます。それをキャップの内側にしっかりとめ込みます。キャップを締めて出来上がり。うまく作った友だちの中には170倍くらいの倍率が得られたと思います。

